

## News Release

2017年12月7日

### 東京スター銀行

#### 他行・他社商品を含めた運用資産を包括的に可視化できる 預かり資産営業支援システムの不動産対応を開始

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治)は、資産運用に関するアドバイザリーサービスをさらに充実させるため、現在、全国の本支店で運用している他行・他社商品を含めた運用資産を包括的に可視化できる「預かり資産営業支援システム『STAR-ナビ(※)』」について、本日より、不動産対応を開始いたします。

今回の対応により、資産ポートフォリオとして、他行・他社資産も含めたお客さまの預かり資産(円預金、外貨預金、投資信託、保険など)に保有不動産も組み込むことで、これまで以上にお客さまの資産全体の把握が容易になり、ご利用中の住宅ローンや将来的なリバースモーゲージ活用の可能性なども試算に含めた、人生の見通しをつけていただくための、さらに効果的なアドバイスをご提供できるようになります。

本件は、中期経営計画の経営ビジョンに掲げる「Trusted Advisor～お客さまにとって身近で信頼できる相談相手になる～」実践のための取り組みの一つで、当行では、お客さまへご提供するサービスを統合アドバイザリーサービスへと進化させ、お客さまが「人生に見通しを立てる」ためのサポートにさらに力を入れてまいります。

なお、お客さまの保有不動産のうち、マンション情報については、株式会社 DG コミュニケーションズの AI を活用した中古マンション推定価格データ提供サービス「家いくら? for Business」を採用しました。同社が 1970 年代から蓄積してきた分譲マンションデータをもとに AI により現在流通推定価格を即時自動査定します。

戸建ての評価算定については、『STAR-ナビ』の原型である『ASSET DIRECTION(アセット・ダイレクション)』を提供する三菱アセット・ブレインズ株式会社の協力のもと開発いたしました。

当行は、今後も、各世代のお客さまがそれぞれに抱えるニーズやお悩みの解決をサポートし、お客さま目線の商品・サービスのご提供を通じて、企業理念である「ファイナンシャル・フリーダム～お客さまをお金の心配から解放する～」の実現を目指してまいります。

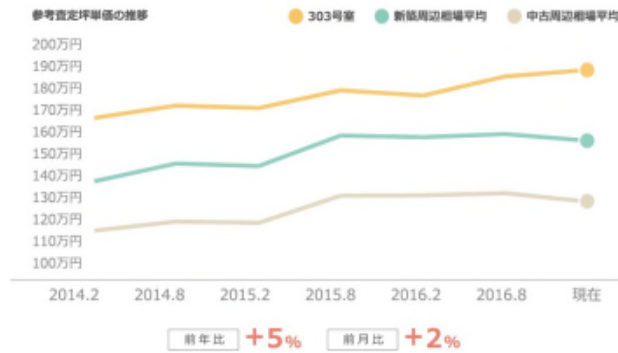
(※)『STAR-ナビ』は、他行・他社資産も含めたお客さまの預かり資産の内容を円グラフやチャートにして包括的に可視化することができるツールで、お客さまの他行・他社でお持ちの投資信託や外貨預金を含めたポートフォリオについて、商品同士の効率的な組み合わせを確認しながら、お客さまの投資意向に合わせた自在なシミュレーションを行うことができます。

(別紙)

〇〇〇レジデンス 303号室

家いくら? 推定価格

**3,570万円**



マンション情報については、株式会社 DG コミュニケーションズの AI を活用した中古マンションの推定価格データ提供サービス「家いくら? for Business」を採用しています。同社が 1970 年代から蓄積してきた分譲マンションデータをもとに AI により現在流通推定価格を即時自動査定します。当初は首都圏約 190 万戸の情報に対応し、2018 年 3 月にはエリアを全国に拡大する予定です。